

## 第2回情報交換会（R6.11.27）及び意見等記入票での主な意見等

## 1 特色ある教育活動に関すること

第2回情報交換会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<b>【引継ぎが考えられる教育活動】</b>	
○ 両校は、地域の人などと交流しながら教育活動を実施してきているので、このような学びは続けていく必要がある。	○ 両校で行っている教育活動をすることで、統合校として発展してほしい。

## 2 総合学科と工業科の連携に関すること

第2回情報交換会での発言	意見等記入票で寄せられた意見
<p>○ 総合学科と工業科の併置によるメリットを生かした連携として次のような取組が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉系列と工業科の連携により、健康福祉系列の生徒が介護実習等において、介護備品の不便と思う点に対し、工業科の技術を取り入れ、その不便さの解消を実現させることができる。</li> <li>情報ビジネス系列と工業科の連携により、情報ビジネス系列の生徒が工業科の高性能な設備の使用や、専門教員の指導により、更に高度な学びを行うことができる。</li> <li>情報ビジネス系列のビジネスコースと工業科の連携により、工業分野のマーケティングに対して視野が広がる。</li> <li>自然科学系列と工業科の連携により、自然科学系列の生徒が、教科書での理系の学習だけでなく、工業科の設備を活用することで、高いレベルの研究等も可能となり、進路選択の幅が広がる。</li> </ul> <p>○ 生徒たちの興味・関心や進路志望に応じて、主体的に取り組めるよう、専門の教科・科目だけでなく、課題研究で実践することで、思考力や探究力などを育むとともに、幅広い知識や技術を習得し、地域を支える人材の育成にもつながる。</p> <p>○ 補習等で工業簿記を総合学科の生徒も行う、資格取得につながり、地元で即戦力として働ける人材を育成できる。</p>	<p>○ 両科の枠を超えて授業を選択できるようにするなど、工夫する必要がある。</p> <p>○ 両科がある程度自由に交流できる環境を作り、それぞれの生徒たちが自ら考え発想できるようにすることで、様々な可能性が無限に広がる。</p>

### 3 その他に関すること（参考となる資料、会議全体を通じた意見等）

第2回情報交換会での発言	意見等記入票で寄せられた意見等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内でも土木科が少ないことから、統合校に土木科を設置することで、他地区や県外からも生徒が入学し、下北地区の企業に就職するといったサイクルができる。</li> <li>○ 学びの選択肢を増やすためには、学科やコースの組み合わせが大切である。</li> <li>○ 部活動を理由に高校を選択する生徒が非常に多いため、活動する環境を整備する必要がある。また、県立高校であることを踏まえると、全てのこどもが同じような環境で部活動に取り組めるようにする必要があり、その環境によって、進路選択が左右されるようなことはあってはならない。</li> <li>○ 学びの機会や教職員の働き方改革などに向け、オンラインは非常に大事である。下北地区の地理的な状況を踏まえ、オンラインの活用を推進してほしい</li> <li>○ オンライン授業を行うことで、それまで開設できなかった教科・科目を受講できるようになるため、導入してほしい。</li> <li>○ こどもたちが多様化する中、生徒が少人数で学ぶ教育活動の機会というのはメリットである。総合学科の系列や工業科による少人数で学ぶ機会は大切であり、統合校の担う役割は大きくなると考える。</li> <li>○ 統合校で充実した教育内容を提供できれば、部活動を理由に学校を選択した生徒が、挫折した場合であっても充実した学校生活を送れると考えている。また、この教育内容等のソフト面に加え、ハード面の整備が伴えば、非常に素晴らしい学校になると思う。</li> <li>○ 教育内容等の情報についても早く提供していく必要がある。</li> <li>○ 中学校1年生から進路指導をするため、ある程度の方向性でも構わないので、令和7年度の中学1年生へ学科改編の公表スケジュールを情報提供してほしい。</li> <li>○ 校舎の工事スケジュールやグラウンドが使用できないことへの対応など、ハード面を含めた統合校の情報について、早急に広く地域へ県教育委員会が説明する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オンラインを活用することで、下北地区に在住しながら東京都内の高校生と同様に、最先端の授業を受けられるなど特色化を図ってほしい。</li> <li>○ オンラインの授業など、DXの活用は下北地区で重要である。</li> <li>○ こどもたち、保護者、地域の方へ現状を早急に伝えてほしい。県のHPでの情報提供だけでなく、むつ市で統合校に関する説明会を開催するなど、広く周知される方法を検討してほしい。</li> <li>○ 進路は中学校1年生から考えていくものであるため、統合校1期生となる現在の中学校1年生に対し、なるべく早く統合校についてアナウンスすることで、他地区への流出等を防ぐ必要がある。</li> </ul>

### 4 検討内容に関する質問事項等

検討内容に関する質問事項等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和7年度からむつ工業高校のグラウンドが使用できないことから、来年度の開設準備委員会設置前に、県教育委員会主導で明確な対応を示すべき。</li> <li>○ 定時制課程や寮の設置について意見が出されたが、検討はどうなるのか。</li> </ul>